



真龍小便い

【学校の教育目標】
 ☆心と体をきたえる子
 ☆美しい心をもつ子
 ☆考えて行動する子
 ☆生き生きと学ぶ子

No.3 令和6年5月31日発行

負けの悔しさを受け止めること

校長 斉藤直彦

運動会練習を校長室から眺めていると、紅組と白組に分かれて、速さや強さ、多さなどで競っている様子を見ることができます。競うということは、勝ち負けであったり、順位がついたりします。

時には、リレーで大きく引き離されて、負けているほうのアンカーにバトンが渡った時には、すでに勝負がはっきりしているような展開もあります。にもかかわらず、真龍小学校の子どもたちは、最後の最後まで、全員が全力で走っています。負けが決まったとしても、たとえ、練習であろうとも、手を抜くことはしません。

それはなぜか。

きっと、真龍小学校の子ども達には、「不条理を受け止める」強さが身についているからだと思います。「負けの悔しさを受け止める強さ」をもっているからだと思います。

「どうにも変えようがないこと」を不条理と言います。不条理は、ただただ、受け止めるしかありません。運動会の勝ち負けは、不条理です。一生懸命頑張ったとしても、必ず勝てるものではありません。

不条理を受け止める強さをもっている子どもたちだからこそ、最後まで全力で走ることができる。負けたとしても粘り強く、頑張りぬくことができる。そう、私は思っています。

でも、このような強さは、簡単には身につけません。

「子ども自身が自分のことは自分で決められるように支援すること（自己決定）」
 「子どもの思いをただただ聴き、子どものわかってほしいことを受け止めてあげること」「時には、思いを認めても手段は間違っているとしっかりと教えること」
 「失敗する権利を認め、子どもと共に、次はどうしようか、と、一緒に考えること」
 のように、私たち大人（家庭も学校も）が、日頃から子どもたちと関わり続けることが大きく影響している、私はそのように思っております。

運動会練習（プロセス）を通して、さらに、しなやかで強い心に成長しようとしている子どもたちを、毎日、見守っています。当日の子どもたちの頑張り様子から、練習や取り組み（プロセス）の姿を、想像していただくと大変うれしいです。

日	曜	6月の主な行事
1	土	
2	日	
3	月	講話朝会 運動会全体練習②
4	火	短縮日課 実行委員会②
5	水	運動会総練習
6	木	短縮日課 総練習予備日
7	金	短縮日課 実行委員会③ 会場設営
8	土	運動会 ※雨天時、順延
9	日	
10	月	振替休業日
11	火	短縮日課 ほかほかタイム（～21日）
12	水	朝読書貸出日 4年社会見学（釧路広域連合ごみ処理場）厚岸音頭練習（3・6年）放課後学習
13	木	短縮日課 2年読み聞かせ（中休み）6年議会見学 1年心臓検診 3年人権教室
14	金	短縮日課 3年歯科検診
15	土	
16	日	
17	月	短縮日課 家庭学習取組提出期間（～21日）
18	火	短縮日課 2年歯科検診 厚岸音頭練習（4・5年）
19	水	読書週間（～28日）眼科検診（全学年）朝読み聞かせ（1,3,5,6年）シャトルラン（1,4,6年）委員会④
20	木	短縮日課 1年歯科検診 体力テスト（2,3,5年）
21	金	短縮日課 体力テスト（1,4,6年）
22	土	
23	日	
24	月	学校評価配付 朝読み聞かせ（全学年）2年給食センター見学
25	火	短縮日課 修学旅行1日目 シャトルラン（2,3,5年）
26	水	朝図書貸出日 修学旅行2日目 朝読み聞かせ（2,4年）
27	木	短縮日課 6年生回復休暇
28	金	短縮日課
29	土	
30	日	

6月の帰宅時刻 18:00
 この時間以降の外出は保護者同伴をお願いします。
 児童の下校時刻に合わせて、また夏冬春休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願い致します。

厚岸を愛し、地域を思う心を育むふるさと教育

本校では、子どもたちが厚岸の歴史や文化、自然環境について学び、ふるさとへの愛着を深めることができるよう、様々なふるさと教育の取り組みを行っています。

3年生の総合的な学習では、「厚岸の伝統や文化」をテーマに学習を進めています。厚岸町役場水産農政課の方を講師としてお招きし、港まつりや市中パレードについてお話していただきました。3～6年生は、7月5日の市中パレードに向けて厚岸音頭の練習に取り組みます。港まつりの歴史や込められた願いなど、今回学んだことは今後の練習やパレード本番に生かされることと思います。

「厚岸の自然」をテーマに学習を進めている4年生は、役場環境林務課の方から町内の自然環境整備について教えていただきました。さらに、厚岸町水鳥観察館を訪問し、別寒辺牛湿原を中心とした自然についてのお話を聞いたり体験活動をしたりして、ふるさと厚岸には豊かな自然が広がっていることを肌で感じ、その自然を守る取り組みをしている方がいることを学びました。今後の学習では、厚岸の自然を守るために自分たちができることは何か、考えていきます。

ご協力いただいた厚岸町役場や水鳥観察館の皆さん、ありがとうございました。ふるさと教育は、学校だけでは成し遂げることはできません。今後も、子どもたちが地域の歴史や自然について理解を深め、ふるさと厚岸への愛着を深めることができるように、町内の教育資源を最大限に活用してふるさと教育を推進して参ります。



児童総会

5月10日(金)、児童総会が開催されました。8つの児童委員会の各委員長から、今年度の目標や活動計画が説明され、その内容に対して質疑応答が行われました。4～6年生の児童が中心となり、自主的・実践的に委員会活動に取り組むことで、学校生活の充実・向上が図られていくことを期待しています。

下校見守り活動

5月14日(火)、町内の民生委員の皆さんと北海道警察シンボルスコット「ほくとくん」による「下校時見守り活動」が行われました。民生委員や警察の方々には、子ども達の安全を守るために、様々な面で支えていただいています。ありがとうございます。

2年生 国語 民話語り聞かせ

5月23日(木)、日本民話の会の荒石先生をゲストティーチャーとしてお招きし、2年生を対象に民話出前授業を行いました。「屁っこき嫁」や「三枚のお札」など3つの民話を語り聞かせてくださいました。先生のユーモラスな動きと巧みな語り、子ども達はすっかり夢中になって聞き入っていました。

日本の伝統文化に触れ、豊かな心を育む貴重な機会となりました。荒石先生、ご協力ありがとうございました。



スクールカウンセラーのお知らせ

今年度も、スクールカウンセラーが本校に配置されることとなりました。これまでと同じく、元翔洋高校教諭の佐々木啓子さんが担当してくれます。月に1回程度の割合で、来校されます。詳細は、先日配付したカウンセラーだよりにてご確認ください。

カウンセリングは、児童に限らず、保護者の方も対象となっています。子育てで悩んでいることがあれば、お気軽にカウンセリングを受けることで、気持ちが楽になり、新たな道が開けることもあります。要望がありましたら学校までお知らせください。

残念…遠足は9月実施に

5月17日(金)、子ども達も楽しみにしていた遠足ですが、残念ながら中止となりました。当日早朝、遠足担当者が目的地である公園まで行って確認したところ、前日からの雨により遊具や芝生が濡れていました。目的地までの路面も水溜りが多く、児童の安全性を確保しての遠足実施は難しいと判断しました。保護者の皆様におかれましては、朝早くのメール確認など、ご協力ありがとうございました。今回できなかった遠足は、9月に実施する予定です。次こそは祈、晴天！

真龍おはなし隊・学校司書の【今月のおすすめ本】

『青空小学校いろいろ委員会シリーズ』

小松原宏子/作 あわい/絵 (ほるぷ出版)

学校司書 小島郁子

真龍小学校では、4年生になると委員会活動が始まります。図書委員が毎回人気で争奪戦と聞き、嬉しい限りです。低学年の本好きな子たちからも、「4年生になったら図書委員に絶対なる！」という頼もしい宣言がよく聞こえてきます。ますます嬉しい限りです。

青空小学校でも委員会活動が始まりました。しかし、4年1組では最初はどの委員にも立候補者がなく、みんな困り果ててしまいます。担任の先生に恋してるアスカが全委員を引き受けると宣言しますが、できるはずもなく・・・

個性豊かな4年1組のメンバーたちが、学校でおこるちょっとやこしい出来事に委員会活動を通して大奮闘する、笑いあり、感動あり、共感ありの子どもたちの成長物語です。

真龍小学校の子どもたちにも大人気の本となっていて、いつも貸出中で予約が入っています。等身大で描かれる子どもたちや学校の様子に、自分や周りの人に似ている部分を発見し、興味がわくからだと思います。大人が読んで面白いです。自分も、遠い昔の小中学校の図書委員長時代を思い出しました。お子さんと一緒に読んで、ご自分の委員会活動の思い出を語り合うのも楽しそうです。

シリーズ中、1. 保健委員、2. 飼育委員、3. 給食委員、4. 体育委員、5. 図書委員、6. 放送委員、7. 計画委員、8. 学級委員の計8巻の所蔵があります。

